

A Change of Responsibility Ceremony

～グリーン最先任上級曹長（Chief Master SGT. Terrence A. Greene）お疲れ様でした～



U.S. Forces Japan and 5th Air Force commander Lt. Gen. Jerry Martinez (left) delivers remarks at a Change of Responsibility ceremony at Yokota Air Base, Japan, Nov. 28, 2018. Chief Master Sgt. Terrence Greene (right), who served dual-hatted as the USFJ Senior Enlisted Leader and 5th Air Force Command Chief, relinquished his responsibilities.

(写真：第5空軍ホームページより転載， Photos authority on <https://www.5af.pacaf.af.mil>)



U.S. Forces Japan and 5th Air Force receive two new senior enlisted leaders. Chief Master Sgt. Richard Winegardner Jr., who will serve as the USFJ SEL (left photo), and Chief Master Sgt. Brian Kruzelnick, who will serve as the 5th AF Command Chief (right photo).

(写真：第5空軍ホームページより転載， Photos authority on <https://www.5af.pacaf.af.mil>)

平成 30 年 11 月 28 日、横田基地において当時の在日米軍兼第 5 空軍司令官マルティネス中将 (Lt. Gen. Jerry Martinez) 執行のもと、グリーン最先任上級曹長 (Chief Master SGT. Terrence A. Greene) の在日米軍前任下士官 (U.S. Forces Japan Senior Enlisted Leader) 兼ねて第 5 空軍コマンドチーフの交代式 (A Change of Responsibility ceremony) が行われた。

グリーン最先任上級曹長は、これまで在日米軍前任下士官 (U.S. Forces Japan Senior Enlisted Leader) と第 5 空軍コマンドチーフ (5AF Command Chief) を兼務してきたが、在日米軍前任下士官としての職

務はワインガードナー先任上級曹長（Chief Master SGT. Richard Winegardner Jr.）へ、第5空軍コマンドチーフの職務はクルゼルニック最先任上級曹長（Chief Master SGT. Brian Kruzelnick）へ、それぞれ引き継がれた。今回はじめて二人の先任下士官のリーダーがそれぞれ職務を分担することになった。

式典を執行したマルティネス中将からグリーン先任上級曹長へ防衛功労賞（the Defense Superior Service Medal）が贈呈され、訓示の中で、在日米軍先任下士官（USFJ SEL）と第5空軍コマンドチーフ（5th AF Command Chief）を兼務して、素晴らしい業績をあげた旨の紹介があり、このたび航空機動軍（Air Mobility Command）に栄転するグリーン最先任上級曹長にエールが送られた。

（以下、マルティネス中将訓示 要約）

「今日、私たちの司令部は変革を遂げている。今回、これまで兼任であった在日米軍先任下士官（USFJ SEL）と第5空軍コマンドチーフ（5th AF Command Chief）の2つが、はじめて、それぞれ別々の専任ポジションになる。我々はグリーン最先任上級曹長上番中の2年間、セキュリティ環境の変化が劇的であり、日本周辺の脅威は急速に成長していることを知ることとなった。今こそ、我々が在日米軍の即応性だけでなく、同盟国との相互運用性について注目し、日本の下士官たちとも協力して共同を確実にする時である。

ワインガードナー最先任上級曹長は、在日米軍先任下士官として、在日米軍下士官に関するすべての問題について司令官を補佐し、統合および共同の行動と訓練・演習を米国部隊、自衛隊および他の日本の組織と調整し、相互運用性及び日米同盟を強化する重要な任務を行う。

クルゼルニック最先任上級曹長は、第5空軍コマンドチーフとして、5空軍の戦闘態勢、航空自衛隊及び他のパートナー諸国との共同に着意し、11,000人の下士官のレディネスをサポート、強化する。

グリーン最先任上級曹長は、日本での2年半の在任間、航空自衛隊准曹士先任と良好な関係を築き、日米下士官の特技能力の強化に努力し、相互の関係を強化するために精力的に活動した。今後は、航空機動軍（Air Mobility Command）－すべての大陸に展開されたグローバルコマンドーのコマンドチーフとして、南北アメリカ、ヨーロッパ、中東、さらにはインド太平洋、さらに南極大陸で勤務するエアメン（Airmen）を担任する。」

グリーン最先任上級曹長は、航空自衛隊と5空軍の間で実施されJAAGAが支援している日米相互特技訓練（Japan-U.S. Bilateral Exchange Program）において、本プログラムが多数の米空軍下士官からの参加希望があり、日米隊員相互に多くのことを学び、相互理解を深める上でとても重要な役割を果たしているという認識を示され、参加部隊の調整や参加隊員の選定などに尽力し、訓練の充実、進展に大きく寄与された。

グリーン最先任上級曹長の日本勤務におけるJAAGAの活動への協力に感謝し、今後の益々のご活躍を祈念します。

（福永理事記）